

1979年のゲームサウンド再現計画 “銀河人”

お買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

銀河人こと型式名UGSF-GX-1979は、オリジナルのアーケード基板で使われている回路を可能な限り再現し、オリジナルに近いサウンドを出すことを目的としていますが、様々な要因により完全に同じ音が出るということではありません。どうかご了承ください。

この基板は製作キットですので、部品は実装されておりません。また、詳しい説明はついておりません。部品と部品表が付属しますので、基板のシルク印刷に合わせて部品をとりつける、抵抗器やコンデンサの種類や定数の読み方がわかるレベルの電子工作に関する知識と、相応の工具が必要です。

回路図やサポート情報はWEBサイトで随時公開していきますので、製作開始前にぜひご参照ください。

<https://bonezine.web.fc2.com/ugsf1979.html>

なお、部品セットのパッケージングには慎重を期しておりますが、何せ手作業でひとつひとつやっておりますので、不足等がありましたらBOOTHのメッセージかTwitterのDMでご相談ください。

※組み立て作業およびその後の運用に際して、当方は一切の責任を負いません。購入者、利用者、ご自身の責任においてご利用ください。

- ご注意ください -

- ・本製品はArduino互換機であるProMicro（またはATmega32U4/16MHz搭載の互換機）で、電源供給を含めてすべてを制御していますので、**ProMicroがないと動作しません**。付属しないモデルを選んだ方は、ProMicroを別途用意されるか、回路図を見ながらご自分で電源やGPIOを結線してArduinoその他マイコンのI/Oを使って制御していただくことも可能です。
- ・ArduinoIDEおよびProMicroを使うためのセットアップについては説明書フル版の方で解説する予定です。サンプルスケッチを資料置き場サイトに置いておきますので参考にしてください。
- ・ProMicro互換機同梱版には、テスト用にサンプルスケッチを書き込んでおきますので、USB電源を接続すればデモが動作します。
- ・ProMicro互換機に付属しているピンヘッダは標準品のため、普通のICソケットには挿入できません。細ピンヘッダを別途用意するか、ピンソケットを別途ご用意ください。
- ・ProMicro互換機のUSBコネクタは力を入れると割と簡単にもげてしまうことがあります。あらかじめエポキシ接着剤などで補強しておくことをお勧めします（瞬間接着剤は浸潤するのでお勧めしません）。

- 仕様 -

- ・基板：100mm×100mm×1.6mm 両面スルーホール基板 鉛入りはんだ仕上げ（RoHS非対応）
- ・部品点数：抵抗器42個 コンデンサ32個 集積回路13個 トランジスタ2個 ダイオード2個 他
- ・電源：USB 5V（ProMicro互換機から供給）消費電力 約0.5W
- ・制御：ProMicro上のスケッチによる
- ・出力：オーディオライン出力、モノラル（基板上の半固定抵抗で音量調節可能）

煩悩産業 Bonezine

Twitter：@Bonezine

BOOTH：<https://bonezine.booth.pm/>

ホームページ：<https://bonezine.web.fc2.com/>

2019年11月08日最終更新

お詫び

Rev.0.0.2 基板のシルク印刷にミスがありました

・C30 積層セラミックコンデンサ 0.1uF が電解コンデンサー C17 のシルク印刷に隠れて見えなくなってしまっています。C17 の右隣、U10 4066 の下にあるのが C30 です。

ご注意ください

・同梱されている JST-XH ハーネスは極性とコードの色が必ずしも一致していません。

例えばオーディオ出力は 1 番ピンが信号線で 2 番ピンが GND となっておりますが、ハーネスは汎用品のため、1 番ピンが黒、2 番ピンが赤という順番になっています。

コンタクトを入れ替えて使うか、充分注意して結線してください。